

《型試合》

【予選型、決勝型】

☆型試合は審判の採点の合計数により順位を決定します。同点の場合は第1優先最高点、第2優先最低点の高い方とし、それでも同点は同点者を決勝進出とし、決勝戦の場合は審議とします。

参加人数（抽選により試合順番決定）	決勝戦進出人数（予選の低得点者から先行）
2人（ワンマッチ）～5人	予選なし、決勝型のみで対決
6人～8人	予選なし、決勝型のみで対決
9人～12人	4人
13人～19人	5人
20人以上	6人

【試合進行、順番について】（午前中型試合）

★開場後（9時15分～予定）随時先着順に試合順番の抽せんを運営本部で行い、試合順を決定致します。抽選を行った時に試合順番が解ります、決勝は予選の得点の低い方から競技を行います。

☆予選型、決勝型共に、混合になったカテゴリーはそれぞれ申込時の指定型となります。

★一人ずつ順番に型競技を行い、3人の審判による採点の合計点により順位を決定致します。（同点は最高点、最低点の順で優位決定）

☆採点は5.5 6.0 6.5 ではなく、6.0 6.1 6.2 6.3～6.9と少数点が0～9まで有ります。

★参加人数により、決勝進出人数は異なります。

☆型試合終了コートより、組手試合が開始されます

【試合方式は下記の通りとなります】

例1、黙想から始まらない型 例え「太極その1」

《アナウンス》「ゼッケン350番横浜太郎！」選手入場。《主審》「正面に礼！」 右手を上げたのを合図とし。
《選手》型の名を言う「太極その1」 型を開始～なおい、まで行い、型終了 《主審》判定取ります！判定！
《アナウンス》「6.3, 7.2 6.8」 「ただ今の得点は 20.3です」《主審》 「正面に礼！」 選手退場。

例2、黙想から始まる型 例え「撃砕小」

《アナウンス》「ゼッケン355番東京太郎！」選手入場。《主審》「正面に礼！」 右手を上げたのを合図とし
《選手》黙想！ 型の名を言う「撃砕小」 型を開始～なおい、まで行い、型終了 以下、上記と同様です。

極真空手の型競技として勝敗の判定基準は「力強さ、気迫」が第一優先、「正確性」を第二優先として判定致します。（型を正確に行った選手が、正確性に欠けるが力強さ、気迫に勝る選手に負ける可能性もあります）

全ての型での開始は、所属団体、流派により、黙想で始まる場合と、そうではない場合と、異なる場合がありますので、これはどちらでも可とします。